

日の出町合併 70 周年・町制施行 50 周年を迎えるに当たって（案）

1 はじめに

昭和 30 年 6 月 1 日、市町村合併法により大久野村、平井村が合併し、新村日の出村が誕生した。その後、昭和 48 年に人口が 1 万人を突破したことを契機に、昭和 49 年 6 月 1 日、町制を施行し、日の出町が誕生した。

令和 6 年 6 月 1 日に町制施行 50 周年、さらには令和 7 年 6 月 1 日に合併 70 周年を迎えることから、この節目を町全体で祝うため、以下の基本的な考え方で、記念事業実施することとなった。

2 町としての考え方

【基本方針】

- 1 周年事業を契機として、町の歴史を振り返り、日の出町の「良さ」、「強み」を再発見することで、町への愛着を深め、次の世代へつないでいく。
- 2 町の魅力を広く発信し、関係人口の増加につなげる。
- 3 「人にやさしく住みよいまち」の実現に向け、町民、企業、行政の向かう方向性を共有し、協働・共創のまちづくりを目指す。

【事業の構成】

- 1 町主催事業
  - (1) タイムカプセル開封
  - (2) 記念冊子（町勢要覧）発行
  - (3) 各課提案事業
- 2 連携事業  
関係団体が主催する事業を「連携事業」と位置付ける。

【実施期間】

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

※令和 6 年度をプレ事業期間と位置づけ、記念事業期間に先立ってキャッチフレーズの募集、冠事業の実施等、町内外へ PR する取組を進め、機運醸成を図る。

## 2 教育委員会としての考え方

日の出町の教育（学校教育や社会教育の他、生涯学習や文化スポーツ分野を含む）も、日の出町の歴史の積み重ね、町の変遷とともに、充実・発展してきた。

このような認識のもと、日の出町教育委員会では、まちづくりと教育づくりは一体的であると捉え、令和5年2月「日の出町教育ビジョン2023」を策定し、「共に学び支え合いみんなで創る日の出町の教育」を基本理念として、「一人一人を重要な教育の担い手とする社会総がかりの教育風土づくり」や「まちの魅力が学校を育てる。学校づくりはまちづくり」を合言葉に、日の出町の教育づくりを進めている。

日の出町合併70周年・町制施行50周年を迎えるに当たって、以下の基本方針のもと、まちの教育にかかわる多様な担い手とともに日の出町一体となった取組が展開できるよう努めることとする。

### 【基本方針】

- 1 周年事業を契機として、「日の出町教育ビジョン2023」に基づき、これまでの取組を町の魅力を生かした教育として位置付けるとともに、これからの日の出町の教育、持続可能なまちづくりを考えることで、町への愛着を深め、知の循環を生み出し、次の世代へつないでいく。
- 2 町の教育の魅力を広く発信するとともに、対話や熟議の機会を創出し、町内外の日の出町の教育への関心を高め、共感を生み、連携協働の基盤づくりをする。
- 3 多様な教育の担い手と目指すところを共有し、「共に学び支え合いみんなで創る日の出町の教育」の実現と、教育創りを通じた「人にやさしく住みよいまち」の実現に向け、協働・共創のまちづくりに資する。

### 【事業の構成】

#### 1 教育委員会主催事業

- (1) 調べる学習コンクール（仮：日の出町の魅力を生かした持続可能なまちづくり）
- (2) 教育シンポジウム（仮：みんなで語ろう。これからの日の出町の教育。）
- (3) 町立学校を含む各教育施設の取組

#### 2 連携事業

関係団体が主催する事業を「連携事業」と位置付ける。

### 【実施期間】

令和7年4月1日～令和8年3月31日

※令和6年度をプレ事業期間と位置づけ、日の出町合併70周年記念 日の出町の魅力を生かした素敵なまちづくり キャッチフレーズ&ロゴマークコンクール（調べる学習コンクール）、冠事業の実施等、町内外へPRする取組を進め、機運醸成を図る。